

いつかではなく、"今" 備える

命と暮らしを守る

地震対策

川島町で震度7の地震が起きたら

地震は、いつどこで起こるかわかりません。7月28日に発生した「令和8年熊本地震」では、最大震度7を観測し、多くの住宅が被害を受け、ライフラインが停止しました。

震度7の揺れは、私たちの暮らしを一瞬で変えてしまうことを、他人事ではなく私たち自身のこととして受け止め、備えることが大切です。一人ひとりがいざという時に備え、命と暮らしを守りましょう。

日頃の備えが
あなたと
家族を守る



今後30年以内に
川島町で震度7の地震が
発生する確率は

0.008%
です

被害想定



建物被害

5,244 棟

(全壊棟数: 2,988 棟 / 半壊棟数: 2,256 棟)



火災による
建物の消失

74 棟



人的被害

928 人

(負傷者数: 748 人 / 死者数: 180 人)

- 立ってられないほどの状態となり、這わないと動けない。
- 固定していない家具は移動、または転倒。
- 耐震性の低い建物は倒壊するものも多くなる。

出典: 川島町地震・洪水ハザードマップ

火災に
注意!



地震による火災は、地震直後だけでなく停電が復旧するタイミングでも発生します。避難時は、必ずガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切りましょう。

東日本大震災の火災原因の **54%** が「電気関係」による通電火災※

※停電後に電気が復旧した際、壊れた電気機器や配線がショートするなどして起こる火災。

地震発生！

身近な場所の危険を チェックしましょう



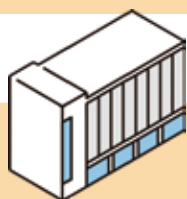
「地震でこの塀は壊れるかもしれない」というように、
【危険な場所】や【安全な避難場所】を普段から外出時に
確認しておくことで、非常時に冷静に行動できます。



危険な場所・物に注意！



安全な避難場所



**ショッピング
モール**

建物のガラスが割れる
可能性があります。
モールの中は、天井か
らの落下物にも注意！



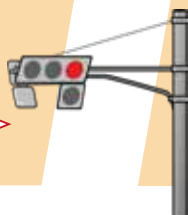
**ブロック塀・
自動販売機**

塀が倒壊する危険あり！
自動販売機も転倒する
おそれがあるので、
すぐに離れましょう。



交差点

信号機・電柱が倒れる、
看板が落ちるなどの可
能性があります。カバン
などで頭を守りましょう。



**公園などの
広い場所**

落下物の心配がなく、
比較的安全です。



通学・通勤先（学校・職場など）

大きな地震が起きた際は、揺れが収まる
までその場にとどまりましょう。

揺れが収まったら…

屋外

開けた場所へ移動しましょう。

屋内

ガラスや窓などから離れましょう。



スーパー

建物のガラスが割れる可能性
があります。建物内の AED
や、消火器の設置場所を覚え
ておきましょう。



自宅

普段の通学・通勤経路以外の道
をチェックしておきましょう。

こんな場所・物に注意！

- ⚠ 自動販売機
- ⚠ 信号機・電柱
- ⚠ ブロック塀
- ⚠ ガラス・看板 など

安全な場所に避難！

- ◎ 公園・広場
- ◎ 学校・公共施設
など

屋外で地震が起きたら…



カバンや服で頭や首を守り、
揺れが収まるまでは危険な
場所に近づかないようにし
ましょう。

家の中で

命を守るために

危険をチェックしてみましょう



家の中で危ない場所を確認し、家具や物の置き方を工夫するだけでも、スムーズに避難しやすくなります。災害への備えを意識して、今の暮らしを見直してみましょう。

1 家具の固定



震度5以上で家具が転倒する可能性があります。家具が倒れることで、下敷きになるだけでなく、避難経路を塞いでしまうおそれがあります。

- ☐ 家具の上部を固定する
- ☐ 家具をL字金具で壁に固定する
- ☐ 重いものは下に収納する

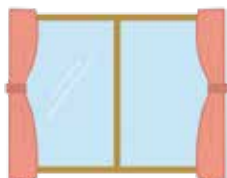
2 家電の転倒・落下防止



テレビや冷蔵庫などの大型家電は固定しましょう。小型家電は落下してこないか、配置を見直しましょう。

- ☐ 大型家電に転倒防止ベルトなどを使用する
- ☐ 家電を粘着マットで固定する
- ☐ 高い場所に家電を置かないよう、配置を見直す

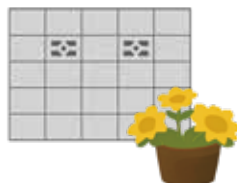
3 窓ガラスの飛散防止



ガラスが割れたときに飛散するのを防ぎましょう。ガラスが飛び散ると、大きなけがにつながるおそれがあります。

- ☐ 飛散防止フィルムを貼る
- ☐ カーテンを閉める
- ☐ 窓のそばに物を置かないよう、配置を見直す

4 庭の安全対策



自宅から安全に避難するために、ブロック塀を改修したり、植木などの配置を見直したりしましょう。

- ☐ ブロック塀の点検、改修をする
- ☐ 物置やプロパンガスを固定する
- ☐ 植木鉢や庭石を、避難経路を塞がないよう配置を見直す

／ 今日からできる! 5つのアクション /

1 家具・家電の固定



転倒・移動を防ぐことで、けがのリスクや避難時の障害を減らせます。

2 備蓄の準備



食料品や水、生活用品などを準備しておきます。

3 避難経路の確認



危険な場所などを家族で共有しておきましょう。

4 防災グッズの用意



すぐに使えるように、準備しておきましょう。

5 ハザードマップの確認



二次元コードより町ホームページをご覧ください。

身近なもので

防災グッズを つくってみましょう



災害時は、普段何気なく使っている物が手に入らないことがあります。そんなときのために、身近なもので防災グッズを作ることに普段から慣れておきましょう。

＼ 広報担当が実際に作ってみました！ ＼

停電時におすすめ！

ペットボトルランタン



材料

- ・水を入れたペットボトル
- ・懐中電灯やスマホのライト

作成にかかった時間
約3分

作り方

懐中電灯を、光が上方向に向くように垂直に置きます。その光の真上に、水を入れたペットボトルを乗せて完成です。

ポイント

水の量で明るさが変わります。
満タンがおすすめです！



スマホのライトでも十分明るかったです！



懐中電灯だけで照らすよりも広く明るく周りを照らせるので安心！

災害時の雨よけや防寒に！

ゴミ袋ポンチョ



材料

- ・ゴミ袋
(70L～90L)
- ・はさみ

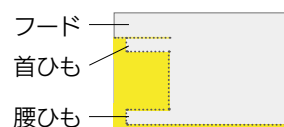
作成にかかった時間
約5分

ポイント

軽くてコンパクト。
リュックの上からでも着られます！

作り方

- ① ゴミ袋の口側を右側にして、黄色の部分切り落とします。



- ② フード部分からかぶります。首ひもと腰ひもをそれぞれ結んで完成です。



防災は特別なことではありません。日々の生活の中でできることを少しずつ続けていくことが大切です。一つひとつの備えが大きな安心へとつながります。できることを、今から始めてみましょう。